

資金管理料金収支の見通し

1. 前提条件

項目	前回(平成23年9月開催 第43回資金管理業務諮問委員会)	今回
①自動車製造業者、日本自動車輸入組合及びユーザーとの負担割合	従来どおり	従来どおり
②物価変動率	考慮しない	考慮しない
③消費税率	平成27年度より10%	平成26年度より8%、平成27年度下期より10%
④実績及び予算	平成22年度までは実績、平成23年度は予算を使用	平成23年度までは実績、平成24年度は予算を使用
⑤計画	平成24年度以降は平成23年度予算を使用	平成25年度以降は平成24年度予算をベースに以下3点の修正を加えた。 ・被災関連支出は含まない。 ・システム関連支出の定常費用は年間500百万円程度の低減。 ・コンタクトセンター運営費は年間10百万円程度の低減。
⑥預託台数	平成24年度以降は平成23年度予算の新車時預託446万台、引取時預託24万台	平成25年度以降は平成24年度予算の新車時預託483万台、引取時預託16.8万台
⑦イベント等	考慮しない	5年毎のデータセンター移行の入札を前提に、次回更改時である平成29・30年度及び次々回更改時である平成34・35年度にそれぞれ合計20億円規模の移行費用を想定している。

2. 今後の見通し

前回(平成23年9月開催 第43回資金管理業務諮問委員会)見通しでは、平成32年度に収支均衡の見通しであったが、情報システムの改善により年間500百万円、及びコンタクトセンターの業務委託先の変更により年間10百万円の合計510百万円のコスト削減効果が影響するため、イベント等発生年度(平成29年度、30年度、34年度及び35年度)を除き単年度での収支はほぼ均衡する見込み。今後も収支の状況を注視していく。

(単位:百万円)

	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	実績 累計	9年目	10年目	11年目	12年目	13年目	14年目	15年目	16年目	17年目	18年目	19年目	20年目
年 度	H16(実)	17(実)	18(実)	19(実)	20(実)	21(実)	22(実)	23(実)		24(予)	25(予)	26(予)	27(予)	28(予)	29(予)	30(予)	31(予)	32(予)	33(予)	34(予)	35(予)
収 入	10,609	20,101	15,010	6,239	3,511	3,352	3,152	3,761	65,736	4,243	2,994	2,821	2,835	2,863	3,249	3,529	2,834	2,842	2,863	3,249	3,529
支 出	8,580	18,432	12,337	7,765	3,900	3,473	3,243	3,840	61,570	4,531	2,977	2,754	2,790	2,855	3,547	4,047	2,796	2,812	2,855	3,547	4,047
収支差額(単年度)	2,029	1,668	2,673	△ 1,525	△ 389	△ 121	△ 91	△ 78		△ 289	17	67	45	8	△ 298	△ 518	37	30	8	△ 298	△ 518
収支差額(累計見通し)	2,029	3,697	6,370	4,845	4,456	4,335	4,244	4,166	4,166	3,877	3,894	3,962	4,007	4,015	3,717	3,199	3,237	3,267	3,275	2,977	2,459

